

いま、「協同」を創る 2019 全国集会

記念講演 いま、「共に生きる」を問う ～ファインダー越しのいのち～



-フォトジャーナリスト-

安田 菜津紀 氏

メッセージ

これまで取材を続けてきた、紛争が続く中東の地や、東日本大震災の被災地。長引く避難生活の中、それでも生き抜く人々の姿がそこにはありました。あまりに厳しい現状が伝えられると、誰しも「自分にはなにもできないのでは」という無力感にさいなまれそうになるかもしれません。けれども諦める前に、少しずつでもそれぞれが持ち寄ることができる「役割」について、一緒に考えてみませんか？当日は現地で撮影した写真を通して、皆さんに現地の方々と「出会って」頂きたいと思っています。その上で「無関心」ではない道をどのように今選ぶことができるのか、分かち合う場となれば幸いです。

プロフィール

1987年神奈川県生まれ。

Dialogue for People(ダイアログフォーピープル)所属フォトジャーナリスト。

16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。

現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。

著書に『写真で伝える仕事 -世界の子どもたちと向き合って-』(日本写真企画)、他。

上智大学卒。現在、TBS テレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。